

年末賞与(一時金)の決定状況 《最終集計》

- ・本協会が実施した年末賞与(一時金)の決定状況調査(最終集計)では、報告のあった81社の支給額平均は47万9,947円で、前年に比べ9,554円(1.95%)下回った。前年を下回るのは3年ぶり。

[最終集計] 平成24年年末一時金取組状況

業種	社数	支給率 (ヶ月)	支給額
			(円)
製造業計 (前年度)	42	1.91	522,858
	45	2.06	537,834
化 学	13	2.19	652,715
機 械 金 属	6	1.74	434,094
食 品	2	2.25	473,983
鉄鋼・非鉄金属	5	1.84	498,500
紙・パルプ	3	1.81	515,232
電 機 機 器	4	1.39	457,447
そ の 他	9	1.80	450,471
非製造業計 (前年度)	39	1.84	429,885
	39	1.78	432,025
運 輸・通 信	14	1.83	412,048
金 融	3	1.82	-
卸・小 売	9	1.67	441,327
土 木・建 設	5	1.83	417,334
そ の 他	8	2.04	461,475
全 平 均	81	1.87	479,947
(前年度)	84	1.93	489,501

※(前年度)は今年と同一企業の集計数値。

※「-」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

規 模	社数	支給率 (ヶ月)	支給額 (円)
100人未満	32	1.80	437,859
	34	1.77	411,326
100人～199人	25	1.82	452,058
	24	1.89	470,363
200人～499人	10	1.95	500,843
	10	2.02	522,578
500人以上	14	2.14	646,776
	16	2.28	703,846

・製造業は化学、機械金属、鉄鋼・非鉄金属が前年を5%以上下回ったことなどが響き、前年比1万4,976円(2.78%)減少し3年ぶりのダウンとなった。

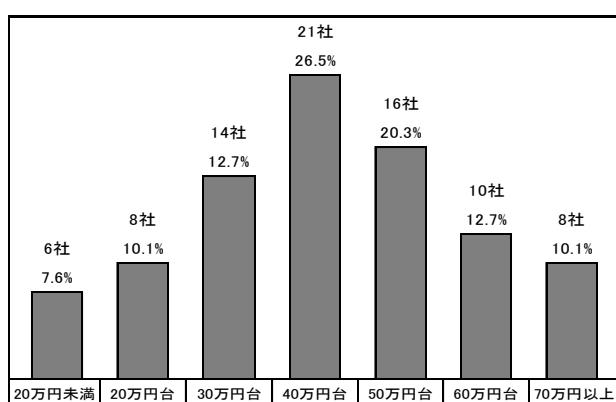
・非製造業も2,140円(0.49%)減少し2年ぶりに前年を下回った。卸・小売りで8.66%と大きく前年を上回ったのは、エコカー補助金を追い風に自動車販売業が大きく伸ばしたことが影響した。

・規模別では、従業員100人未満で前年を上回ったものの、100人以上の全ての区分で下回った。

・支給額の分布では、40万円台が21社(26.5%)と最も多く、次いで50万円台(16社、20.3%)、30万円台(14社、12.7%)の順となった。昨年70万円以上の企業は17社あったが、化学、鉄鋼などで前年を下回る企業が多かったため今年は8社にとどまった。

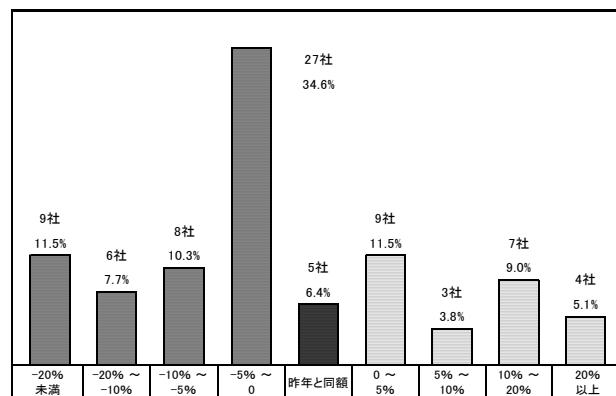
・前年度の支給額と比較可能な78社について増減率をみると、前年を下回った企業の割合は64.1%(50社)に上ったのに対し、前年を上回ったのは29.5%(23社)にとどまった。

支給額の分布



※支給額を公表した79社の分布

増減率(対前年)の分布



※前年の支給額と比較可能な78社の分布